

大阪ガスのお問い合わせ先

大阪支社	〒550	大阪市西区千代崎3-2-95	電話 大阪 06 (586) 3200
南部支社	〒590	堺市住吉橋町2-2-19	電話 堺 0722(38)1131
北部支社	〒568	高槻市藤の里町39-6	電話 高槻 0726(71)0361
東部支社	〒578	東大阪市稲葉2-3-17	電話 河内 0729(62)1131
兵庫支社	〒650	神戸市中央区東川崎町1-8-2	電話 神戸 078(380)3100
京都支社	〒600	京都市下京区中堂寺栗田町1	電話 京都 075(311)7381
奈良支社	〒631	奈良市学園北2-4-1	電話 奈良 0742(44)1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1-5	電話 和歌山 0734(31)2481
兵庫西支社	〒670	姫路市神屋町4-8	電話 姫路 0792(85)2221
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6-57	電話 豊岡 0796(23)2221
滋賀支社	〒525	草津市西大路町5-34	電話 草津 0775(82)5311
滋賀東支社	〒522	彦根市大東町12-11	電話 彦根 0749(22)3131
長浜営業センター	〒528	長浜市南呉服町3-4	電話 長浜 0749(82)7171
本社・ガスビル サービスセンター	〒541	大阪市中央区平野町4-1-2	電話 大阪 06(202)2221

大阪ガス株式会社

おねがい

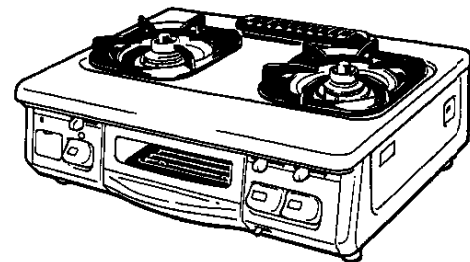
ガスくさいときは、ガス栓を閉め、窓を全開してから(火気に注意して)大阪ガス支社、サービスセンターにご連絡ください。

ガステーブルコンロ

10-674/675型

型式名 RTS-4100FTS-L
RTS-4100FTS-R

SAFULL
セイフル



取扱説明書

- ご使用前にこの取扱説明書をお読みいただき安全に正しくお使いください。
また付属の保証書も必ずお読みいただき、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 幼いお子様にはさわらせないでください。
- 本製品は家庭用ですので業務用にお使いになると著しく寿命が縮まります。
- この機種は国内専用ですので海外で使用しないでください。

大阪ガス

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのごガステーブルコンロをお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

もくじ

●安全に正しくお使いいただくために	1・2・3・4・5
●特長・機能のご紹介	6
●各部のなまえ	7
●機器の設置	8・9・10
●使いかた	11・12・13・14・15
●安全機能について	16
●日常の点検とお手入れ	17・18
●長期間使用しない場合	18
●故障かな?と思ったら	19
●寸法図	20
●仕様	20
●アフターサービス	21
●別売部品のご紹介	21




安全に正しくお使いいただくために

〈安全に正しくお使いいただくために〉

この取扱説明書および製品への表示では製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

 危険	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されることを表しています。
 警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される、および物的損害のみの発生が想定されることを表しています。

絵表示について次のような意味があります。



特に注意していただきたいこと、安全のために必ずお守りください。

△危険

ガス漏れに気づいたら絶対に火をつけたり、電気器具のスイッチの入・切、電源プラグの抜き差し、周辺の電話を使用しない。

炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

- ①すぐに使用を中止しガス栓を閉める。
- ②窓や戸を開けガスを外へ出す。
- ③お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガス支社に連絡する。



△警告

使用ガスと、銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)が合っていることを確認する。
転居したときも使用ガスと銘板の表示が合っているか確認する。



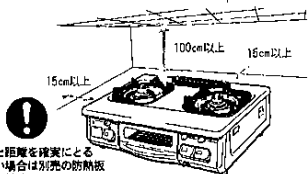
合っていない場合そのまま使用すると火災や不完全燃焼の原因となります。銘板は右側面に貼ってあります。使用ガスが不明のときは、お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガス支社にご相談ください。

(例)都市ガス用12A・13Aの銘板

12A・13A	
型式の呼び	都市ガス
12A用	13A用
ガス消費量	ガス消費量
製造年月および製造番号	RN(O)
リンナイ株式会社	

△警告

設置するときは可燃物との距離を確実に離す。また設置後機器の周囲を改造しない。火災予防条例で定められています。必ず守ってください。距離が近いと火災の原因になります。また可燃性の壁にステンレス板などを直接取り付けご使用になった場合でも熱伝導で長年の間に可燃物が炭化し火災になることがありますので必ず防火措置をしてください。設置後吊り戸棚などをつけると可燃物との距離が守れなくなり火災の原因になります。



・可燃物と距離を確保にとる
・守れない場合は別売の防熱板を取りつける

機器の下に新聞紙やビニールシートなど可燃物を敷かない。また周辺に可燃物を置いたり、可燃性ガスを近くで使用しない。

引火して火災・爆発をおこすことがあります。ふきん、カーテン、スプレー缶、ベンジンなどを置かないでください。



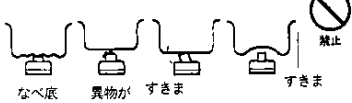
火をつけたまま離れない。就寝、外出をしない。

調理中のものが異常過熱し火災、機器焼損の原因となります。とくに天ぷら、揚げもの調理をしているときはその場を離れなくてください。離れるときは消火してください。



温度センサーの上面となべ底が密着していないときは使用しない。

そのまま使用すると調理油の量に関係なく発火することがあります。



調理油は200ml以上入れる(天ぷら油過熱防止機能付の場合)

調理油の量が少ないと発火することがあります。また200ml以上でもなべ底と温度センサーの上面が密着していないと発火することがあります。

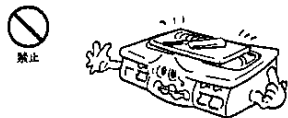


調理油の量 200ml以上

調理油

グリル排気口をふさがない。

火災、一酸化炭素中毒・機器焼損の原因になります。



お手入れが必要なところ以外は絶対に分解したり修理・改造は行わない。ガス漏れや故障の原因になります。



分解禁止

油料理には耐熱ガラス容器・土なべなど熱が伝わりにくいものは使用しない。調理油が発火することがあります。



禁止



耐熱ガラス 土なべ

地震、火災、または使用中に異常を感じたときはすぐに使用を中止する。あわてずにガス栓を締めてください。故障かな？と思ったら(P19)を参照ください。



ガス栓を締める



△注意

ガス用ゴム管(内径9.5mmφ)以外は使わない。ひび割れたゴム管、古いゴム管は使わない。

ガス漏れの原因となります。ゴム管はJISまたは検査合格マークの入ったものを使用してください。ビニール管は絶対に使わないでください。

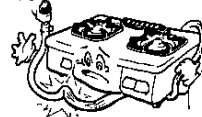


ひび割れ ビニール管 禁止

ゴム管は本体に触れたり、下を通さない。また炎やグリル排気口に近づけない。使用時は周囲が高温になりゴム管がとけてガス漏れを起こすことがあります。



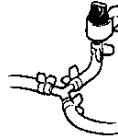
禁止



ゴム管の継ぎたし、二又分岐はしない。ガス漏れや使用誤りなどで危険な場合があります。



禁止



ゴム管はホースエンドおよびガス栓の赤線まで確実に差し込みゴム管止めで止める。ゴム管が抜けたり抜けかけたりすると、ガス中毒やガス爆発の原因になります。



赤線まで差し込む



ゴム管 ゴム管止め

グリル水入れ皿は必ず水(200ml)を入れて使う。たまった油脂は取り除く。

水がない場合はたまった油脂が過熱されて発火しグリル排気口より炎が出る場合があります。続けて使用する場合はそのつど油脂を取り除き水を入れてください。



そのつど水を入れる

グリル燃焼の上にアルミはくを敷かない。アルミはくの上に油がたまり発火する原因になります。



禁止



グリルとびらの開閉はゆっくり確実に。グリルとびらを引き出すとき持ち上げたまま引き出すと途中で止まらず落下し、お湯がこぼれてやけどすることがあります。



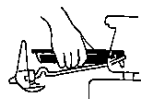
ゆっくり確実に



グリル水入れ皿だけを持って本体より取り外さない。グリルとびらが落下しけがやけどをすることがあります。



禁止



使用中は換気をする。一酸化炭素中毒の原因になります。



換気扇を回す窓をあける



指定以外の補助道具は使用しない。温度センサーとなべ底の接触不良の原因になり揚げもの料理の場合に発火することがあります。



禁止

安全に正しくお使いいただくために

△注意

衣類の乾燥や煉炭の火起しなど調理以外の用途に使用しない。
火災や異常過熱し機器焼損の原因になります。



禁止



コンロをおおうような鉄板などは使用しない。
不完全燃焼や異常過熱し機器焼損の原因になります。



禁止



使用中、使用直後はつまみ、取っ手以外は触れない。
やけどをすることがあります。とくに幼いお子様がいるご家庭はご注意ください。



触れるな

使用後は消火を確認し就寝・外出時はガス栓を閉める。
消し忘れによる火災の原因になります。



ガス栓を閉める



しる受け皿はバーナーキャップにのせたり、斜めにしてセットしない。
バーナーの炎が当たる受け皿の下にもぐり込み火災や機器焼損の原因になります。



禁止



アルミはく製する受け皿は使用しない。
炎が接触し異常過熱や不完全燃焼の原因になります。



禁止



やかん、なべなどの大きさに合わせて火力を調節する。
火力が強いとやかん、なべなどの取っ手が焼損したり、手に触れるとやけどをする原因になります。



なべなどの大きさに合わせて火力調節



魚の裏返し、取り出し時などグリルとびらガラスやグリルとびら上端に触れない。
手や腕が触れるとやけどをすることがあります。



触れるな



グリル使用前にグリル庫内に食品くずやふきんなどがないことを確認する。
食品くずやふきんが燃えあがる可能性があります。



確認する

グリルとびらガラスに水をかけたり傷をつけたり強い衝撃を加えない。
ガラスが割れ、やけどやけがの原因になります。



禁止



安全に正しくお使いいただくために

△注意

点火するときはバーナー付近に顔を近づけない。
炎や熱でやけどをすることがあります。



禁止



点火操作を繰り返すときは周囲にガスがなくなるまで待つ。
たまったガスに着火しやけどをする原因になります。



周囲にガスがなくなってから点火

バーナーキャップを水洗いしたときは水気をじゅうぶん切ってからセットする。
炎口が結まつまま使用すると異常燃焼の原因になります。



水を切る

コンロ・グリル使用中はバーナー付近や排気口に体の一部や衣服を近づけない。
炎や熱で衣服に燃え移ったり、やけどの原因になります。



禁止



温度センサーのお手入れはこまめにおこなう。また上下にスムーズに動くことを確認する。
異物がついていたり、温度センサーの動きが悪いとなべ底と密着しないため正常に機能が作動しないことがあります。



異物をとり上下の動きを確認



温度センサー

温度センサーに強いショックを加えたりキズをつけない。
なべ底に温度センサーが密着しなくなり温度センサーが正しく作動しない場合、調理油が発火することがあります。

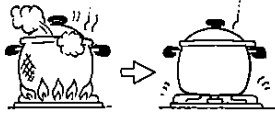


特長・機能のご紹介

ガステーブル“セイフル”とは、
うっかりミスによる煮もの料理の焦げつきによりなべをダメにしたり天ぷら油火災を防止する
など数々の機能を装備したガステーブルコンロです。ぜひ、あなたのお台所で活躍させて
ください。

● 煮ものモード(焦げつき消火機能)

主として水を使う煮込み、煮ものなどの調理の場合
に使用するモードです。万一、料理が焦げつき始め
たら自動消火します。
調理例：カレー、茶碗蒸し、おでん、煮豆、炊飯な
ど



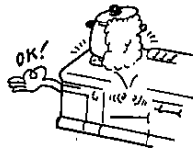
● 焼きものモード(標準バーナー)

焼き網による魚焼きやぎんなん、大豆を炒るなど高
温を必要とする特定の調理の場合のみ使用するモ
ードです。(焼きものスイッチを連続して2度押し操
作で設定します)
調理例：ポップコーン、焼き網を使用する調理など



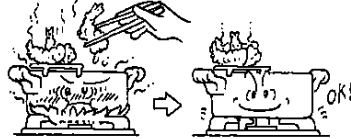
● 立消え安全装置

バーナーは、煮こぼれなど火が消えると自動的にガ
スを止めます。



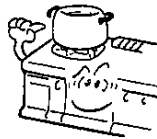
● 油ものモード(天ぷら油過熱防止機能)

主として油を使う天ぷら、炒めものなどの調理の場
合に使用するモードです。天ぷら油が発火する温度
になる前に自動消火し、天ぷら油火災を未然に防ぎ
ます。
調理例：天ぷら、フライ、焼きそば、チャーハン、
ソテー、ホットケーキなど



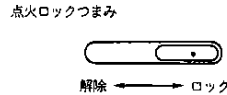
● コンロ、グリル消し忘れタイマー

点火してから連続してコンロは約2時間、グリルは
約25分で自動消火し、消し忘れを防ぎます。(長時
間の煮込み料理に注意してください。)

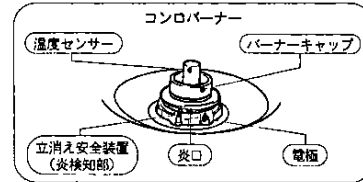
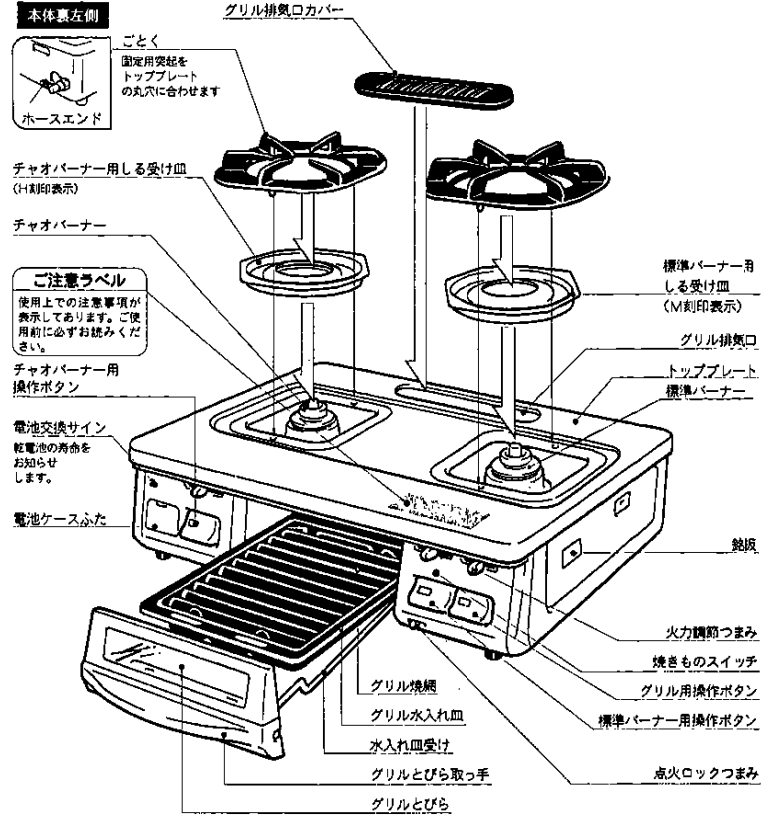


● 点火ロック

バーナーの操作ボタンをロックします。お子様のい
たずら点火などを防ぎます。



各部のなまえ



※図は、10-674型です。10-675型は、チャオバーナーと標準バーナーが左右逆になります。
※1つの操作ボタンを押すと点火装置が働きバチバチ音とともにすべてのバーナーの点火プラグから火花がでます。

機器の設置

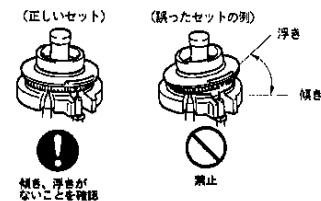
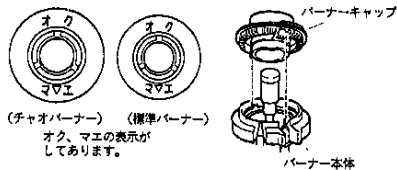
●設置前の準備と確認

- ・型式名、ガス種、製造年月は機軸右側面の銘板に表示してあります。
- ・銘板のガス(ガスグループ)と使用ガスが合っているか確認します。
- ・輸送のため各部分にあて紙や包装部材がありますので全部取り除いてください。

●部品の取り付け

バーナーキャップ

「オク」印を後側にしてバーナーキャップの突起部をバーナー本体の凹部に合わせてつけます。バーナーキャップが浮いたり、傾いたりしていると炎が不ぞろいになったり異常燃焼し危険です。



お願い バーナーキャップをセットした後、必ず正常に燃焼しているかどうか確認してください。

乾電池の取り付け

1. 電池ケースのふたを開ける

2. 電池ケースを引き出す

3. 乾電池を取り付ける



お願い ●乾電池の寿命は約1年を目安としてください。
●乾電池は⊕⊖を確認しながら取り付けてください。

ガスの種類を確かめてください。

ガスグループ

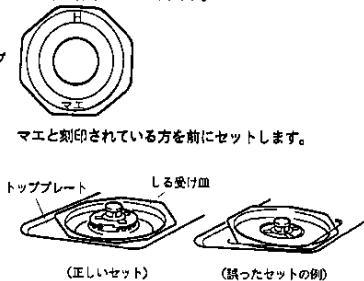
12A・13A	
型式の呼び	都市ガス
12A用	13A用
ガス消費量	ガス消費量
製造年月および製造番号	RN(O)

製造年月

リンナイ株式会社

しる受け皿

- ・内側の穴の大きい方(H刻印)がチャオバーナー用、小さい方が標準バーナー用です。



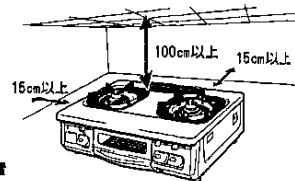
⚠ 炎がしる受け皿に接触しないことを確認



機器の設置

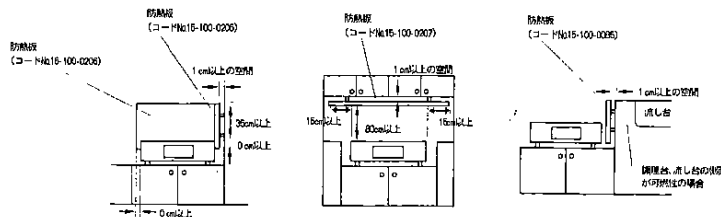
●設置場所および周囲の防火措置

- 次のような場所に設置してください。
- ・強い風の吹き込まない場所
 - ・丈夫で水平な場所
 - ・たなの下など、落下物の危険のない場所
 - ・付近にカーテンなど燃えやすいものがない場所
 - ・上に樹脂製の照明器具のない場所
 - ・上に湯沸器がない場所



- 周囲に可燃物(木製の壁、たななど)のある場合はつぎのように設置してください。
- ・トッププレートより上の側面および後面は15cm以上、上部はトッププレート上面より100cm以上離して設置します。

- 可燃性の壁(ステンレス板などを張りつけた可燃性の壁も含む)から15cm以上、また、上部は箱体上面から100cm以上離して設置できない場合は壁面に別売の防熱板を取り付けてから設置します。



- ・防熱板については、お買いもとの販売店、大阪ガスサービスショップ、または大阪ガス社社でお求めください。
- ・指定の防熱板以外は絶対に使用しないでください。

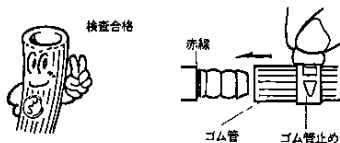
お願い チャオバーナーは壁側に設置しないでください。

⚠警告

設置するときは可燃物との距離を確実に離す。(火災予防条例で定められています) 距離が近いと火災の原因になります。

●ゴム管の接続

ガス用ゴム管(内径9.5mmφ, JISマーク入り)を用いガス栓と機器のホースエンドとを接続します。このときゴム管はホースエンドおよびガス栓の赤線までしっかり差し込みゴム管止めを固定してください。また器体に触れないようにして接続します。



△注意

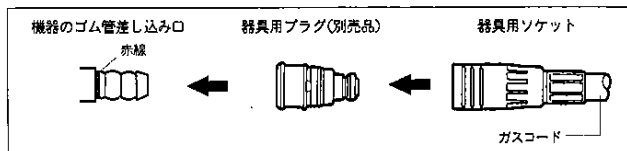
■ゴム管は器体に触れたり、下を通さない、また炎やグリル排気口に近づけない
 使用時は周囲が高温になりゴム管がとけてガス漏れを起こすことがあります。

禁止

●ガスコードの接続(ガスコードは13A専用です)

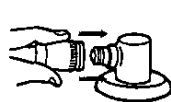
ガスコード接続をする場合は、ガス検側がカチットプラグになっていないと接続できません。従来のガス栓で使用する場合は、別売のホースコック用プラグが必要です。

①ガス機器側の接続



上図のように、まず別売の器具用スリムプラグを器具用スラムプラグ梱包紙の裏面に記載してある取扱説明に従って器具のゴム管差し込み口に取り付け、次にガスコードの器具用ソケットを器具用スリムプラグに“カチッ”と音がするまで押し込みます。
 ※ガスコードは必ずガステーブルコンロ用をお使いください。
 ※ガスコードの長さは2m以下にしてください。

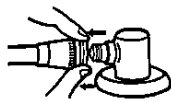
①ガス栓を開ける時は



コンセント継手を「カチッ」と音がするまで、確実に差し込んでください。コンセント継手を差し込むとガス栓が開きます。

※ガス栓がガステーブルコンロ用であることを確認してください。

②ガス栓を閉める時は



コンセント継手のすべりリング(白色)を手前に引きます。コンセント継手はずれると、ガス栓は閉まります。

使いかた

●コンロをお使いになる前に

■消し忘れタイマー

コンロには消し忘れタイマー機能がついていますので、連続して約2時間使用しますと自動消火します。続けて使用する場合は、操作ボタンを消火の位置に戻してから再度点火操作を行ってください。特に長時間の煮こみ料理には注意してください。

■調理方法によるコンロバーナーの選びかた

コンロには、標準バーナーとチャオバーナーがあります。どのバーナーにも安全機能を備えてありますが、標準バーナーには加えて焼きものモードが付いています。中華料理はチャオバーナーで、それ以上の高温を必要とする調理はこの焼きものモードを使ってください。(P13参照)

■コンロ(天ぷら油過熱防止装置付)の正しい使いかた

なべの選びかた

油料理に適するなべ
 鉄やアルミ製のなべ・
 天ぷらなべ・フライパン



油料理に適さないなべ
 (発火の恐れがあります)



ステンレスやホーロー製の
 フライパン・なべ
 中華なべ、打ち出しなべ
 無水なべ



適さないもの
 (調理中に消火する恐れがあります。)

焼き網

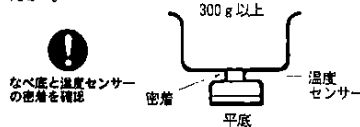


調理油の量

200ml以上で使用してください。少ないと発火することがあります。

なべの重さとのせかた

なべの重さは調理物の重さを含め300g以上が必要です。できるだけ底が平らな金属製のなべを使い、なべ底の中心が温度センサー頭部に密着するよう、正しくセットしてください。また、安定性の悪いなべは使用しないでください。



△警告

油料理は耐熱ガラス容器・土なべなど熱が伝わりにくいものは使用しない。

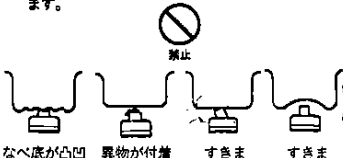


お願い

コンロ上での魚焼き・鉄板焼などはしないでください。トッププレートのフッ素樹脂の色が変わったり、はがれることがあります。

△警告

温度センサーの上面となべ底が密着していないときは使用しない。
 そのまま使用すると調理油が発火することがあります。



調理油の量は200ml以上入れる。
 少ないと発火することがあります。

■焼きものモード(標準バーナー) (P13参照)

焼きものやいりもの料理など、高温を必要とする調理の時に使います。

●コンロの使いかた

■点火ロック

- 操作ボタンをロックするときは点火ロックつまみを矢印の方向にスライドします。
- 点火操作のときは点火ロックつまみを解除の位置に戻します。

お願い

- 点火時にロック操作はできません。
- 点火ロックは左右コンロ・グリルの点火操作がロックされます。

■点火

操作ボタンを矢印の方向に押し込みます。点火装置はたつき「パチパチ音」とともにコンロバーナーに点火します。バーナーに点火したことを確かめてから数秒間（安全装置がセッティングされるまで）押し続けます。点火時は表示窓が赤色になります。

お願い

- 火力調節つまみの位置が「弱火」のときに操作ボタンを押すと「強火」の方向に移動する構造になっています。
- 点火するときは必ずなべをのせてください。

■火力調節

火力調節つまみを左右にゆっくりとスライドさせて火力を調節します。

「強」：強火になります。

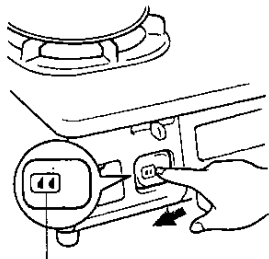
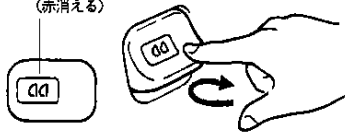
「弱」：弱火になります。

強火から弱火にスライドさせると、火力調節つまみは一度途中で止まります。さらに弱火にしたいときは、火力調節つまみを少し持ち上げてから右に移動させます。

■消火

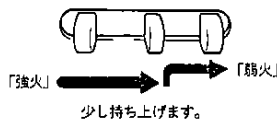
- 操作ボタンを矢印の方向に押します。
- 操作ボタンが戻り消火します。ボタン表示窓の赤色が消えます。
- 消火したことを確かめます。
 - ガス栓を閉じます。
 - 使用後は点火ロックつまみを「ロック」の位置にします。

操作ボタン表示窓
(赤消える)



表示窓(点火時)

※「パチパチ」と放電して炎口に着火します。



少し持ち上げます。

⚠注意

やかん、なべなどの大きさに合わせて火力を調節する。

火力が強いとやかん、なべなどの取っ手が焼損したり、取っ手に触れるとやけどをする原因になります。



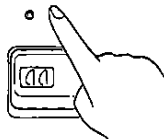
なべなどの大きさに合わせて火力調節



■焼きものモード(標準バーナー)

焼きものやいりもの料理など、高温を必要とする調理の時に使います。

1. 標準バーナーを点火します。(12ページ参照)
2. “焼きもの” キー中央部を2回押します。キーの表示ランプが点灯します。点灯しない場合は、再度キーを押してください。1回めから約3秒以内に2回めを押さないとキャンセルされます。
3. 調理に合わせて火力調節します。消火の操作をすると焼きものモードはとりけされます。このとき、キーの表示ランプが消灯します。調理途中で焼きものモードをとりけしたいときは、焼きものキーを1回押します。



お願い

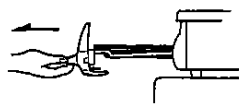
- 焼きものモードで調理中、万一温度センサーの温度が異常に上昇すると安全のために自動消火します。操作ボタンを消火の状態に戻し、温度センサーが冷えてから再び使用してください。
- 焼きものモードでは、焦げつき消火機能、天ぷら油過熱防止機能の自動消火設定温度が高くなっています。ご注意ください。
- 熱変形して温度センサーと接触しないような焼き網は使用しないでください。調理中に消火することがあります。

●グリルをお使いになる前に

グリルには消し忘れタイマー機能がついていますので、連続して約25分使用しますと自動消火します。続けて使用する場合は、操作ボタンを消火の状態に戻してから再度点火操作を行ってください。

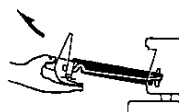
グリルとびらの開け方

- グリルとびらを取っ手を持って止まるところまでゆっくり引き出しそのまま手をそえながら下におろします。



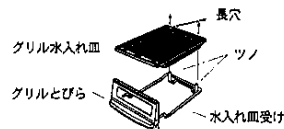
グリル水入れ皿の取り外し方

- グリルとびらの取っ手を持ったまま引き出し、前方を少し持ち上げながら本体より取り外します。



グリル水入れ皿のセット

- グリル水入れ皿の「前」刻印を手前にして、グリル水入れ皿受け後部のツノを差し入れてセットします。



予熱

点火後約2分程予熱し、強い火になってから材料を入れてください。またこのとき、グリル焼網も同時に熱しておくからラダ油を塗っておきますと材料がグリル焼網に付着しにくくなります。



△注意

グリルとびらの開閉はゆっくり確実に。
グリルとびらを引き出すとき持ち上げたま引き出すと途中で止まらず落下し、お湯がこぼれてやけどをすることがあります。

ゆっくり確実に

△注意

グリル水入れ皿だけを持って本体より取り外さない。
グリルとびらが落下しけがやけどをすることがあります。

禁止

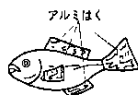
グリル焼網

- グリル焼網はひっくりかえすことにより、網の歪みが変わられます。焼きものの種類・大きさによって高い・低いを選んでください。グリル焼網はグリル水入れ皿に入れてご使用ください。



魚焼きのこつ

- 魚は水洗いしたらよく水をふきとります。
- こげやすい部分やヒレなどには厚めに塩を振りかけておくか、アルミはくで包んでおくことこげ方が少なくなります。
- 塩を振ったら、おいしさが逃げないうちに焼きます。



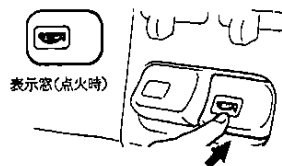
●グリルのつかいかた

グリルをはじめお使いになる場合は、必ず15分くらいから焼きをしてください。部品に付着した油を焼き切るため、このとき煙がでますが異常ではありません。

■点火ロックを解除します。(P12参照)

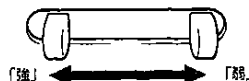
■点火

操作ボタンを矢印の方向に押し込みます。点火装置ははたらき「パチパチ音」とともにグリルバーナーに点火します。バーナーに点火したことを確かめてから数秒間(安全装置がセットされるまで)押し続けます。点火時は表示窓が赤色になります。



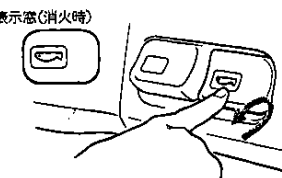
■火力調節

- 火力つまみを左右にゆっくりとスライドさせて火力を調節してください。
- 「強」：強火になります。「弱」：弱火になります。



■消火

- 操作ボタンを矢印の方向に押します。操作ボタンが戻り消火します。ボタン表示窓の赤色が消えます。
- 消火したことを確かめます。
 - ガス栓を閉じます。
 - 使用後は点火ロックつまみを「ロック」の位置にします。



○お願い

- グリル水入れ皿に脂がたまらないように、こまめに掃除してください。
- 肉や脂身の多いものを焼く際、煙や炎がグリル排気口から出たり、材料に火が移ったりすることがありますから、注意しながら調理してください。また調理中は離れないでください。
- グリルとびらは必ずしっかりと閉めてご使用ください。グリルとびらが開いたままで、上部の化粧板が変色したり、トッププレートが熱くなって触れるとやけどすることがあります。
- グリル使用時にコンロを使用すると焼物の塩分(ナトリウム)や水中に溶解しているカルシウムなどが燃焼してガスの炎が赤色を帯びることがありますが異常ではありません。

△注意

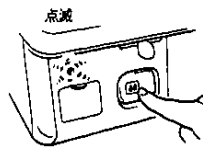
グリル水入れ皿は必ず水を(約200ml)入れて使う。たまった油脂は取り除く。水がない場合は、たまった油脂が過熱されて発火しグリル排気口より炎が出ることがあります。続けて使用する場合はもそのつど油脂を取り除き水を入れてください。



●電池交換サイン

乾電池の交換時期が近づくとお知らせする電池交換サインが付いています。点滅したら新しい乾電池を用意し、点灯が変わったら交換してください。(P 8参照)

- 点滅から点灯に変わると使用できなくなりますので、乾電池を新しいものに交換してください。
- 乾電池が正しくセットされていなかったり、乾電池に全く容量がなくなったときは、電池交換サインは点灯しません。この場合、放電スパークの「パチパチ」音がしますので、ただちに乾電池を点検してください。



安全機能について

- 安全機能が作動するとブザーが鳴ります。安全機能が作動して自動消火を行なうとブザー「ピー」が5回鳴ってお知らせします。すぐに操作ボタンを消火の状態にしてください。操作ボタンを消火の状態に戻さないで1分ごとに1回ブザーが「ピー」と鳴ります。

立消え安全装置

煮こぼれなどで火が消えたと、ガスを自動的に止めます。

- 立消え安全装置が作動したら

使用中、火が消えたときは？

すぐに操作ボタンを消火の状態にしてください。

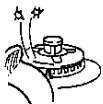


再点火するとき？

安全装置が働いてもガスが止まるまで少し時間がかかります。周囲に生ガスがなくなるまでしばらく待って、炎検知部の汚れをふきとぎご使用ください。

- 立消え安全装置(炎検知部)に水漬や煮こぼれがつくと、点火しにくくなったたり、消火することがあります。なべの底についた水漬はふきとってからごこくの上にのせてください。(煮こぼれにも注意してください。)

- 炎検知部に悪いものをぶつけてください。まがったり、変形し、点火しにくくなります。



消し忘れタイマー機能

消し忘れを防止するために、点火してから連続使用時間を判断して、コンロは約2時間、グリルは約25分かつ自動消火する機能です。



コンロは約2時間
グリルは約25分

- 消し忘れタイマー機能が作動したら

使用中、火が消えたときは？

すぐに操作ボタンを消火の状態にしてください。



再点火するとき？

再度、点火操作を行ってください。

天ぷら油過熱防止機能

天ぷらなどの調理油の過熱によって起こる火災を防止する機能です。●天ぷら油過熱防止機能が作動したら

使用中、火が消えたときは？

すぐに操作ボタンを消火の状態にしてください。



再点火するとき？

なべや油が相当熱くなっていますのでよくどに十分注意して、水を入れたなべや水に浸した布などで温度センサーを冷やしてください。熱いなべをそのまま、再点火すると消火する場合があります。

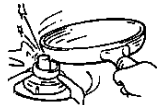
- 温度センサーの働きが悪くなり、なべ底と密着しない場合には、点検・修理を依頼してください。

- 温度センサー部に強いショックを加えたり、キズをつけたりしないでください。温度センサーが正しく作動しなくなる場合があります。

- ウイング、ボークソナー、ホイールのつまみ焼きなど、から焼きに近い調理は早切れすることがあります。火力を弱めるか、なべの中央部などセンサーの位置に材料を置くことと早切れを防止することができます。

- かきまじり揚げなど高温で長時間使用する調理は、早切れすることがあります。

- 野菜いためやチャーハンなど、なべをふる調理で、あまり臭くふるると早切れすることがあります。なべをふる時間を短くしてください。



日常の点検とお手入れ

警告

点検・お手入れが必要となるころ以外は絶対に分解したり、修理・改造は行わない。ガス漏れや故障の原因になります。



お願い

- 点検・お手入れの前には必ずガス栓を閉じ、機器が冷えてから行ってください。
- けがをしないように手袋などをはめて行ってください。
- 機器本体に水をかけたり、丸洗いはしないでください。

●点検

点検場所	点検内容
ゴム管	古くなってひび割れたり、折れたり、器体に触れたりしていませんか。
バーナーキャップ ごこく、しる受け皿 グリル排気口カバー	正しくセットされていますか。
バーナー本体の炎口部 バーナーキャップ 立消え安全装置の炎検知部 温度センサー	煮こぼれなどがこびりついていませんか。
グリル水入れ皿	油脂がたまっていませんか。
機器周辺	燃えやすいものが置いてありませんか。
温度センサー	指で押したときスムーズに動きますか。また、指を離したときすなおにもとの位置に戻りますか。

●お手入れ

お願い

- 機器の表面は塗装、フッ素樹脂などの処理がしてありますので使用する洗剤、たわしなどの種類を確認してください。
- 機器本体には安全に関する注意ラベルが貼付してあります。汚れたり読めなくなったときはやわらかい布などで汚れをふきとってください。また、お手入れの際にははがれないようご注意ください。

使ってよいもの



確認

中性洗剤

やわらかい布

スポンジ
たわし

使っていけないもの



禁止

ミカ粉

鹼性、アルカリ性洗剤

金属
たわし

ナイロン
たわし

機器本体・ごこく・しる受け皿

- ・中性洗剤でお手入れした後乾いた布で水気を十分とります。

トップレート

- ・表面が汚れたらそのつどぬれふきんでふきとります。
- ※汚れがおちにくいとき
 - ・中性洗剤で汚れた部分を湿らせておき、しばらくしてからスポンジたわしや布などでふきとります。

お願い

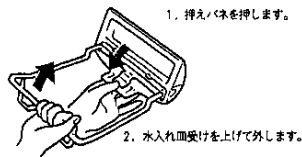
中性洗剤以外の洗剤、かたいもので手入れするとフッ素樹脂がはがれたり、シミや色が変わる原因となりますので使用しないでください。

もしフッ素樹脂がはがれたら
・下地はステンレスですのでそのままご使用いただけます。

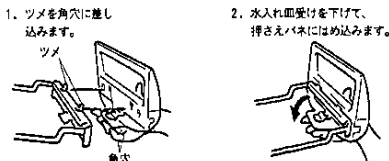
グリル水入れ皿・グリルとびら・グリル水入れ皿受け

中性洗剤で洗って乾いた布で水気をふきとってください。

取り外しかた

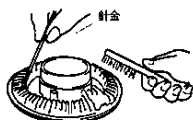


取り付けかた



バーナーキャップ

炎が不ぞろいになったときは炎口をブラシや針金などで汚れを落とします。

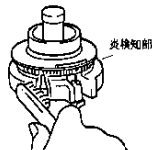


お願い

- 掃除後は正しくセットし正常に燃焼することを確認してください。(P 8 参照)
- バーナーキャップの黒い部分(炎口は除く)は中性洗剤、スポンジなどで洗ってください。万一、黒い部分がかかれても使用にさしつかえありません。そのままご使用いただけます。

立消え安全装置

炎検知部に汚れがこびりついている部分は歯ブラシなどの柔らかいブラシで汚れを落としてください。



お願い

かたいブラシなどで決してみがかないでください。故障の原因となります。

温度センサー

温度センサーの頭部についた煮汁やゴミは、布を水に浸し固くしほってからふきとってください。

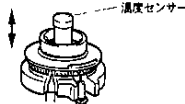
注意

温度センサーのお手入れはこまめにおこなう。また上下にスムーズに動くことを確認する。

異物がついていたり、温度センサーの動きが悪いとなべ底と密着しないため正常に機能が作動しないことがあります。



異物をとる上下動きを確認



長期間使用しない場合

- ・ガス栓を閉じてください。
- ・乾電池を電池ケースより抜いてください。(乾電池の液もれにより、器具をいためることがあります。)

故障かな?と思ったら

次のことを調べてください。

現象	原因	処置
点火しない	ガス栓の閉き忘れ	お部屋のガス栓を全開にしてください。
	バーナーキャップの取付不良	正しくセットしてください。(P 8 参照)
	乾電池が入っていないまたは正しくセットされていない	正しくセットしてください。(P 8 参照)
	電池ケースが確実に差し込まれていない	確実にセットしてください。(P 8 参照)
	温度センサーが高温になっている	温度センサーを冷やしてください。
点火しにくい	温度センサーの不良	点検修理を依頼してください。
	ガス栓の開き不十分	お部屋のガス栓を全開にしてください。
	LPガスがなくなりかけている	新しいボンベに交換してください。
	配管中に空気が残っている	点火操作をくり返してください。寒期一番など点火するまでしばらく時間がかかります。
	ゴム管の折れ曲がり、つぶれ	ゴム管の折れ曲がり、つぶれを直してください。
点火後しばらくして消火する	バーナーキャップの取付不良	正しくセットしてください。(P 8 参照)
	バーナーキャップの炎口づまり	炎口を掃除してください。(P 18 参照)
	点火プラグの水ぬれ、汚れ	水ぬれ、汚れを拭き取ってください。
	乾電池の消耗	新しい乾電池と交換してください。(P 8、P 15 参照)
	温度センサーが高温になっている	温度センサーを冷やしてください。
異常音をたてて燃える 爆発的に点火する	温度センサーの不良	点検修理を依頼してください。
	バーナーキャップの取付不良	正しくセットしてください。(P 8 参照)
使用中消火しやすい	バーナーキャップの取付不良	正しくセットしてください。(P 8 参照)
黄炎で燃える 炎が安定しない	立消え安全装置部分の汚れ	立消え安全装置を掃除してください。(P 18 参照)
	バーナーキャップの炎口づまり	炎口を掃除してください。(P 18 参照)
ガスの臭いがする	バーナーキャップの取付不良	正しくセットしてください。(P 8 参照)
	ゴム管の接続が不完全	ゴム管をしっかりと接続してください。
使用中消火した	ゴム管のひび割れ、穴あき	新しいゴム管と交換してください。
	安全装置が作動 消し忘れタイマーが作動	操作ボタンを消火の状態にし再度点火してください。

なお、異常のあるときやおわかりにならないときは、お買もとの販売店、またはお近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社へご連絡ください。不完全な処置は事故のもとになります。

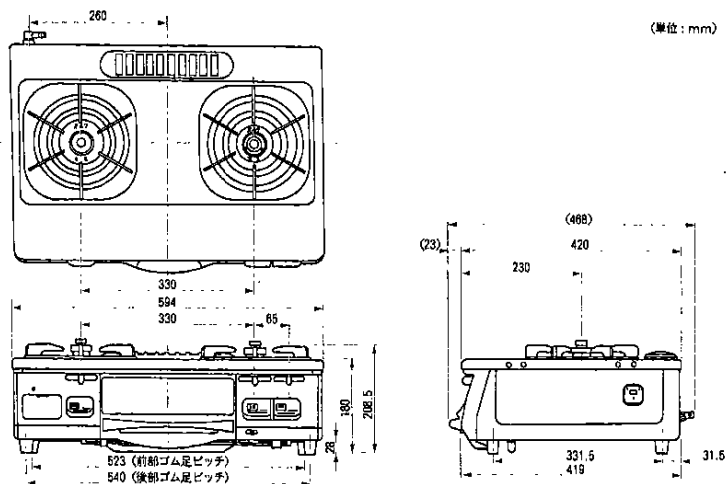
警告

使用中に異常を感じたときはすぐに使用を中止する
あわてずガス栓を閉めてください。

こんな場合は故障ではありません。

- はじめてグリルを使用しますとグリル内の加工油が焼けて煙が出ます。約15分くらい、から焼きすれば、それ以後煙はでません。
- 点火の操作をしているとき、「パチパチ」という放電とともに電池交換サインが弾く点滅することがありますが故障ではありません。
- 軽一番など、長時間ガス栓を閉じていたときは、すぐに点火しないことがあります。機器配管内の空気が抜け、バーナーにガスが来るまで数回、点火をくり返してください。
- 消火時に「ボン」という音がかかることがありますが、これは火が消えたときの音で異常ではありません。

寸法図



仕様

品名	ガステーブルコンロ				
品番	10-674型	10-675型			
型式名	RTS-4100FTS-L	RTS-4100FTS-R			
点火方式	連続放電点火				
外形寸法	高さ180mm(トッププレートまで)×幅594mm×奥行468mm				
質量(本体)	12kg				
安全装置	立消え安全装置・天ぷら油過熱防止機能・消し忘れタイマー・焦げつき消火機能				
電源	DC6.0V(単1×4個)				
使用ガスの種類	1時間当りのガス消費量				
ガスグループ	個別ガス消費量			ガス接続	
	チャオバーナー	標準バーナー	グリル		全点火時 ガス消費量
都市ガス13A	4.65kW (4000kcal/h)	2.67kW (2300kcal/h)	2.27kW (1950kcal/h)	9.30kW (8000kcal/h)	内径 9.5mm ガス ゴム管
LPGガス	3.50kW (0.261kg/h)	2.46kW (0.176kg/h)	2.30kW (0.165kg/h)	8.23kW (0.59kg/h)	
付属品	乾電池単1-4個				

アフターサービス

●アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- サービス(点検・修理)を依頼される前に「故障かな?と思ったら」(19ページ)の項を見て、もう一度ご確認ください。それでも不具合がある場合は、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社ご連絡ください。
- ご連絡の際には次のことをお知らせください。
 - 品名……………ガステーブルコンロ
 - 品番……………本体の左側面に貼付してあります。
 - 故障、異常の現象……………できるだけ詳しく
 - お客様名、住所、電話番号

例 (N) 10-674 (U)
大阪ガス株式会社 09

保証・補修について

- 保証期間中は……保証書に記載のように、機器の故障について修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。保証書を紛失されますと、無料期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理についてお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打切後6年間です。

転居される時

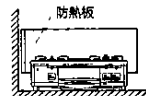
- ガスには都市ガス13種類、およびLPガスの区分があります。ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類をご確認の上、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。この場合調整、改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。ただし、ガスの種類によっては調整できない場合もあります。

別売部品のご紹介

●防熱板(コードNO.: 15-100-0205, 0206)

- 設置場所で、可燃性の壁(ステンレス板などを張りつけた可燃性の壁も含む)から15cm以上離して設置できない場合、図のように取り付けて使用してください。

機用 15-100-0205
後用 15-100-0206



●ちり受け皿

(4) 15-100-0080

- 器具の下、ガス台の上に設置してください。器具の下に落ちた灰こぼれはちり受け皿の上に落ちます。ときどき取り出して掃除していただく、ガス台を汚さずにご使用できます。



●ホースソック用プラグ(コードNO.: 81-450)

●器具用スリムプラグ(コードNO.: 81-359)

●ガステーブルコンロ用ガスコード

0.7m 80-480, 80-580
1.0m 80-481, 80-581
2.0m 80-482, 80-582